平成２９年度

適　性　検　査　Ⅰ

注　　意

１　問題は $\boxed{1}$ から $\boxed{5}$ までで、１４ページにわたって印刷してあります。

２　検査時間は**４５分**です。

３　声を出して読んではいけません。

４　解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、解答用紙だけ提出しなさい。

５　解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。

６　**性別・受検番号**は解答用紙の決められた欄（らん）２か所に必ず記入しなさい。

さ い た ま 市 立 浦 和 中 学 校

1

生き物を飼うのが好きな花子さんは、動物好きな主人公が登場する『子どもたち』という本を図書館で見つけて読んでみることにしました。

次の文章は、中央公論新社編「教科書名短篇 少年時代」にある、長谷川四郎著『子どもたち』の一部です。これを読んで問１～問４に答えなさい。

主人公の「三郎」は中学校二年生である。ある日「三郎」は、友だちからジュウシマツを二羽もらってきた。

長谷川四郎著『子どもたち』

中央公論新社編「教科書名短篇 少年時代」

69 ページ最初から 73 ページ１行目の文章による。

（本文にはふりがなをつけるなどの変更（へんこう）があります。）

※１　バラック‥‥‥ 間に合わせに建てた粗末（そまつ）な家屋（かおく）。仮小屋（かりごや）。

※２　たち　　‥‥‥ 生まれつきもっている性質。

※３　あわ　　‥‥‥ イネ科の一年草。ヒエとともに古くから栽培（さいばい）される。飯や餅（もち）・団子にしたり、酒・飴（あめ）などの原料。また、小鳥の飼料（しりょう）とする。

※４　チャブ台‥‥‥ 日本で用いられる食事用の座卓（ざたく）。

※５　縁側　　‥‥‥ 日本住宅（じゅうたく）の建物周囲に巡（めぐ）らした板敷（いたじ）きの通路部分、あるいは庭からの昇降（しょうこう）のための板敷き部分。

問１　下線部①「むずかしい顔」とありますが、なぜ母親はむずかしい顔をしたのかを、花子さんは次のようにまとめました。次の空らん［　A　］にあてはまる言葉を、５字以上１０字以内で書きなさい。

母親は、三郎が［　A　］しないと思ったから。

問２　下線部②「これでよし」とありますが、花子さんは三郎がどのようなことに対してこの言葉を言ったのかを考えてみました。適切なものを、次のア～エの中から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　ジュウシマツを友だちから２羽もらってきたこと。
イ　ジュウシマツを飼うことについて、母親に話をしたこと。
ウ　ジュウシマツを飼うために作った箱に問題がなかったこと。
エ　ジュウシマツが箱の中にいることを父親に伝えたこと。

問３　空らん［　B　］に入る適切な言葉を漢字１字で書きなさい。

問４　下線部③「父親というものは、なんて心配性なものだろう」とありますが、花子さんは父親の立場になり、父親が心配する気持ちを**【考え】**にまとめてみました。空らん［　C　］にあてはまる内容を「悲しい」という言葉を使って書きなさい。

【考え】
父親は、ジュウシマツが箱からとびだしてすぐモズにさらわれてしまう場面を息子と一緒に見てしまったので、二度と［　C　］と思った。

2

太郎くんは、坂井修一（さかいしゅういち）さんの『知っておきたい情報社会の安全知識』（岩波ジュニア新書）という本を読んで、メールの使い方について考えてみることにしました。

次の文章は、その一部です。これを読んで問１～問４に答えなさい。

坂井修一著『知っておきたい情報社会の安全知識』
岩波ジュニア新書
34 ページ最初から 38 ページ１行目の文章による。

（本文にはふりがなをつけるなどの変更があります。）

※１　取次　・・・・・・・・・・・・・・・・・両方の者の間に立って物事を伝えること。

※２　利便性・・・・・・・・・・・・・・・・・利用する人にとって都合がよいこと。

※３　世帯　・・・・・・・・・・・・・・・・・住居と生計をともにする人々からなる集団、もしくは生活単位。

※４　ウェブページ・・・・・・・・・・・・インターネット上で公開される文書。

※５　紙媒体・・・・・・・・・・・・・・・・・情報を伝えるためのメディアのうち、紙に印刷されたもの。

※６　衰退　・・・・・・・・・・・・・・・・・おとろえて、勢いを失うこと。

※７　興じて(興じる）・・・・・・・興味を持って面白く過ごすこと。

※８　慶弔　・・・・・・・・・・・・・・・・・結婚・出産などのよろこび事と葬式。

※９　ナビゲーションソフト・・・・目的地までの経路や道順、移動方法の案内をするプログラム。

※10　ＩＴ　・・・・・・・・・・・・・・・・情報処理や通信に関する技術の総称。

※11　錯覚　・・・・・・・・・・・・・・・・実際にあるものを、実際とは異なる形で知覚すること。

※12　効率的・・・・・・・・・・・・・・・・むだがないようす。

問１　情報社会について、本文中に述べられていることとしてあてはまるものを、次のア～エの中から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　情報社会の到来によって､新刊を売る本屋は１９９２年から２００７年の間で約１０,０００店が店を畳んでいる。

イ　新聞社がウェブページで提供する情報には、新聞社の姿勢や報道の個性を示すところがある。

ウ　電車やバスの中では、多くの人が、携帯メールや音楽プレイヤー、携帯ビデオプレイヤーを利用しているため、本を読む人の姿をあまり見かけなくなった。

エ　ナビゲーションソフトが使われるようになったことで、本になっている時刻表や地図を見る人も増えた。

問２　空らん［　A　］に入る適切な言葉を、次のア～エの中から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　そして　　イ　つまり　　ウ　また　　エ　しかし

問３　下線部①「腹を割る」という言葉が正しく使われているものを、次のア～エの中から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　こんなにたくさんの荷物を運ぶのは腹を割る作業だ。

イ　このマンガは腹を割るほどおもしろい。

ウ　このゲームソフトは腹を割るほど欲しいものだ。

エ　次郎とは腹を割って話し合わないといけない。

問４　太郎くんは、この本の内容について発表することになり、**【発表原稿（はっぴょうげんこう）】**を作成しました。本文の内容を参考に、下の**【発表原稿】**にある空らん［　B　］、［　C　］にあてはまる内容を、本文中からそれぞれ１５字以内でさがして書きぬきなさい。

【発表原稿】

情報社会の到来やＩＴの浸透によって、社会から消えていったり、形が変わったりしたものがたくさんあります。

最近は私たちも電子メールやブログを使用することが多くなりましたが、筆者はこの本の中で、コンピュータは限界があるコミュニケーション手段であると言っています。

私たちは、「電子メールやブログ」では、感情を含めた［　B　］ではないので、電子メールやブログの便利なところを活かしながら、［　C　］をすることが必要だと思います。

3

花子さんは今年の夏に家族で旅行する群馬県上野村について書かれた『「里」という思想』という本を見つけ、興味をもって読んでみました。

次の文章は、内山節著『「里」という思想』（新潮選書）の一部です。これを読んで問１～問４に答えなさい。

内山節著『「里」という思想』　新潮選書

51 ページ４行目から 53 ページの文章による。

（本文にはふりがなをつけるなどの変更があります。）

※１　神楽　・・・・・・・・・ 神をまつるために演奏する歌や舞い。
※２　農閑期・・・・・・・・・ 農作業のない時期。
※３　促し（促す）・・・・ 早く物事をするように急がすこと。
※４　継承　・・・・・・・・・ 受け継ぐこと。
※５　ローカル・・・・・・・ その地方に限定される特有なこと。
※６　郷愁　・・・・・・・・・ 古いものをなつかしむ気持ち。

問１　下線部①「この会合は面白かった」について、花子さんは、**【筆者が本文中で面白かったと感じたこと】**を次のようにまとめました。空らん［　A　］にあてはまる内容を本文中からさがして書きぬきなさい。

【筆者が本文中で面白かったと感じたこと】
筆者の村では、「村人のまなざし」という精神が［　A　］こと。

問２　花子さんは、下線部②「村人のまなざし」のように物事をとらえてみようと思いました。次の文を「村人のまなざし」のようにとらえるとするとどのような文になるでしょうか。書き直しなさい。

太郎くんは花に水をやる。

問３　下線部③「世阿弥」が能の様式をつくりあげた時代と同じ時代について書かれているものを、次のア～エの中から１つ選び、記号で答えなさい。
ア　近松門左衛門が、町人の姿を生き生きとえがいた芝居の脚本を数多く書いた。
イ　雪舟が、墨だけを使って絵画をえがき、すぐれた作品を数多く生みだした。
ウ　紫式部が、かな文字を使って貴族の生活や人々の細やかな感情を文章で書いた。
エ　葛飾北斎が、木版の技術を使って色鮮やかな版画絵を作った。

問４　花子さんは欧米的な主体性と日本的な主体性について、次のようにまとめてみました。Ｂにあてはまる内容を本文中からさがして書きぬきなさい。

	まとめ
欧米的な主体性	Ｂ
日本的な主体性	他者が出発点にあり、その他者とのかかわりのなかに主体性が発生する。

4

太郎くんは、さいたま市にある、縄文時代の遺跡や、江戸時代に整備された街道、宿場町を調べるために、博物館へ行きました。

はじめに、太郎くんは、さいたま市の遺跡について調べることにしました。次の**資料１、２**をもとに、問１～問２に答えなさい。

資料１　博物館に展示されていた掲示物

さいたま市に残る遺跡「真福寺貝塚」

○縄文時代のさいたま市とその周辺の様子

現在のさいたま市とその周辺には、かつて海が広がり、大宮付近の台地は海につき出た半島でした。縄文時代前期後半には、海岸線は次第に台地周辺から遠ざかっていきました。

○真福寺貝塚から出土した貝について

遺跡の名前	現在の場所	時　代	数多く出土した貝
真福寺貝塚	岩槻区	縄文時代後期	ヤマトシジミ

○出土した主な貝の種類について

ヤマトシジミ：淡水（川の水など）と海水が混ざる場所に生息する貝。

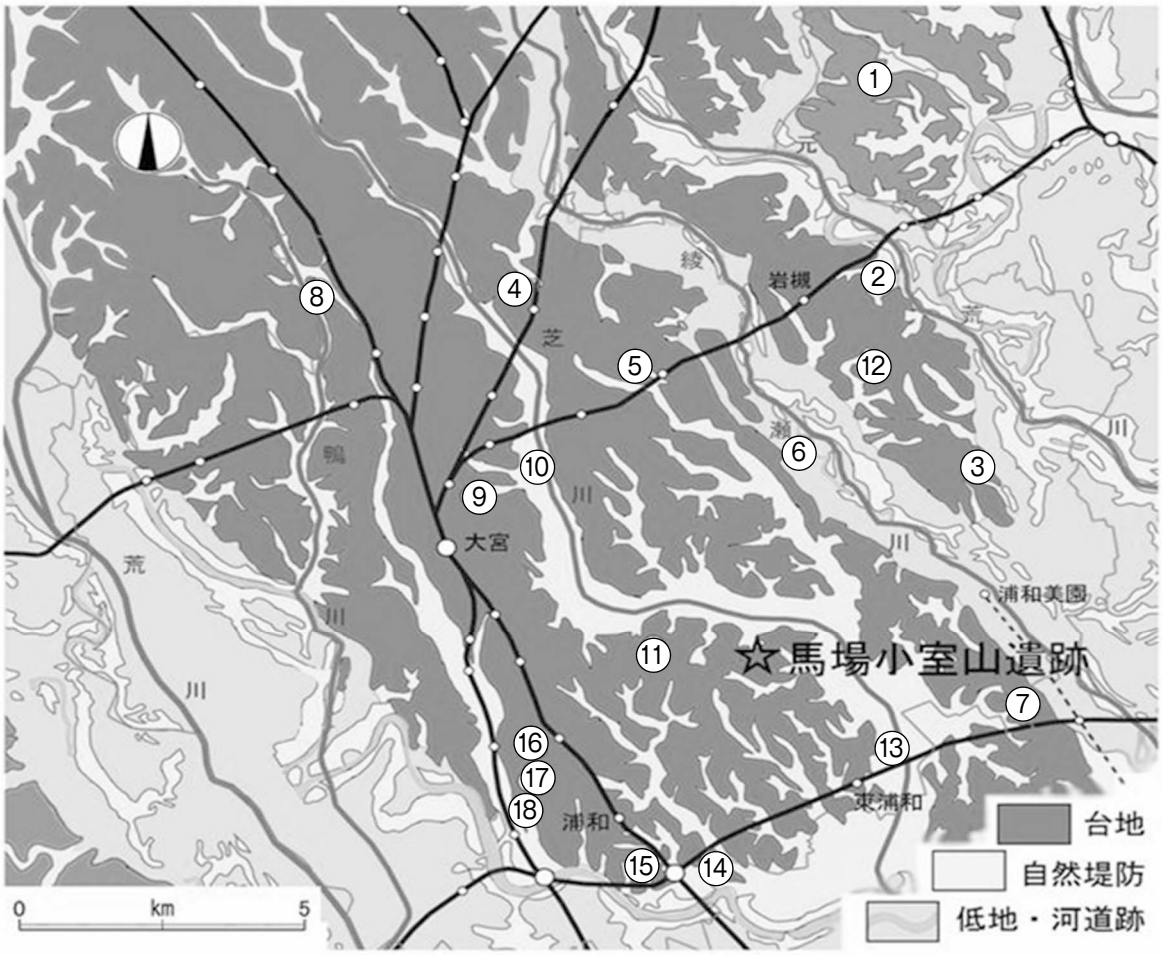
問１　**資料１**から、縄文時代後期の真福寺貝塚周辺の様子について考えられるものを、次のア～エの中から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　まだ海が残っており、川の水などもあった。
イ　まだ海が残っていたが、川の水などはなかった。
ウ　海はなくなっていたが、川の水などはあった。
エ　海や川の水などがなくなっていた。

問２　太郎くんは、さらにさいたま市の遺跡について調べてみると、緑区に馬場小室山遺跡があることがわかり、**資料２**を見つけました。

太郎くんは、馬場小室山遺跡がある場所の地形と、真福寺貝塚がある場所の地形の共通点を**資料２**から見つけ、下のようにまとめました。**【まとめ】**の空らん［　A　］にあてはまる内容を５字以内で書きなさい。

資料２　さいたま市の地形と主な遺跡の場所



①裏慈恩寺遺跡　②岩槻城跡　③黒谷田端前遺跡　④東北原遺跡　⑤小深作遺跡
⑥膝子泥炭層遺跡　⑦南方遺跡　⑧奈良瀬戸遺跡　⑨氷川神社遺跡　⑩寿能泥炭層遺跡
⑪前窪遺跡　⑫真福寺貝塚　⑬四本竹遺跡　⑭大谷場小池下遺跡　⑮大谷場遺跡
⑯曲庭遺跡　⑰南１号遺跡　⑱南鴻沼遺跡

「馬場小室山遺跡にようこそ（さいたま市教育委員会）」より

【まとめ】

馬場小室山遺跡は、真福寺貝塚と同じように、［　A　］につくられました。また、低地との境目にあることもわかります。

次に太郎くんは、江戸時代の街道や宿場町について、博物館の学芸員さんにたずねることにしました。次の**【太郎くんと学芸員さんの会話】**と**資料３、資料４**をもとに、問３～問４に答えなさい。

【太郎くんと学芸員さんの会話】

太郎くん　：さいたま市の歴史について調べてみたら、現在の岩槻区は、江戸時代に「日光御成道」に設けられた「岩槻宿」として栄えていたことがわかりました。この「日光御成道」とはどのような道だったのですか。

学芸員さん：江戸時代に整備された街道の１つで、現在の東京都の本郷で中山道から分かれ、埼玉県の幸手の手前で日光街道に合流します。歴代の将軍が徳川家康をまつっている日光東照宮へ行くために利用していました。岩槻は、「日光御成道」が整備されると、宿場町としての特色をもつようになったのです。さいたま市には「日光御成道」の宿場町としてもう１つ「大門宿」があります。

太郎くん　：当時は、江戸から日光東照宮まで、どれくらいの日数が必要だったのですか。

学芸員さん：ここにある**資料３**をみると、江戸を出発してから途中の宿泊地でそれぞれ１泊し日光東照宮へ到着するまで、［ B ］日間かかっていることがわかります。現在では、数時間で行けてしまいますね。ところで、さいたま市には、ほかにも江戸時代に宿場町として発展していたところがありますが、わかりますか。

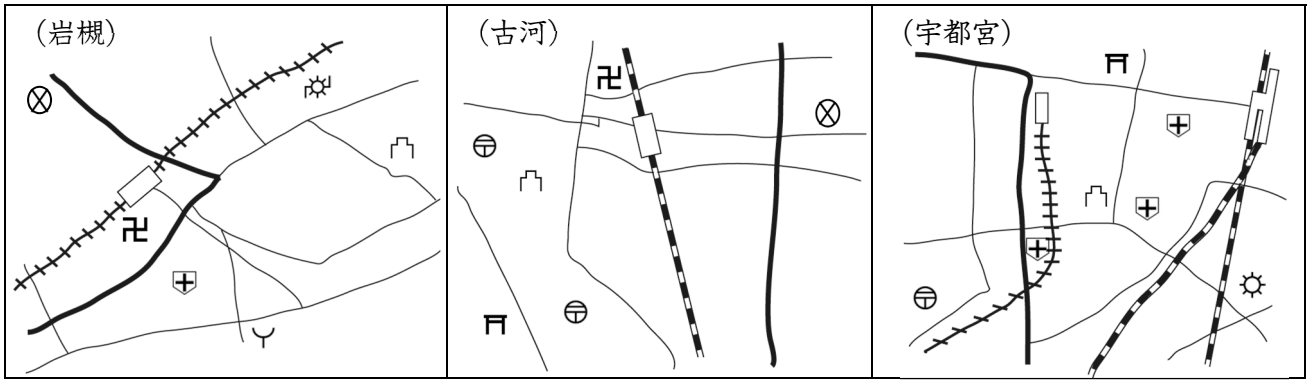
太郎くん　：この前、浦和駅の近くへ行ったとき、通りに「中山道浦和宿」という石碑がありました。浦和も宿場町だったのですか。

学芸員さん：そうですね。同じ中山道で、大宮も宿場町として発展しました。

資料３　ある将軍の江戸城出発から日光東照宮到着までの道中の様子

○江戸城出発	卯中刻（午前６時ごろ）
○途中の宿泊地	岩槻（埼玉県）、古河（茨城県）、宇都宮（栃木県）
○休憩	街道沿いの各地の村や寺社など

資料４　現在の岩槻・古河・宇都宮のようす　（太線は以前の日光御成道または日光街道を表しています）



記号

寺　神社　城あと　交番　郵便局　病院　消防署　工場　発電所

鉄道と駅

問３　**資料３**を参考にして、**【太郎くんと学芸員さんの会話】**の空らん［ B ］にあてはまる数字を書きなさい。

問４　太郎くんは、**資料３**の岩槻、古河、宇都宮が江戸時代になぜ将軍の宿泊地として選ばれたのか学芸員さんに質問したところ、学芸員さんは**資料４**を渡してくれました。太郎くんは**資料４**を見て、将軍の宿泊地として選ばれるための共通点があることがわかりました。その内容は何ですか。書きなさい。

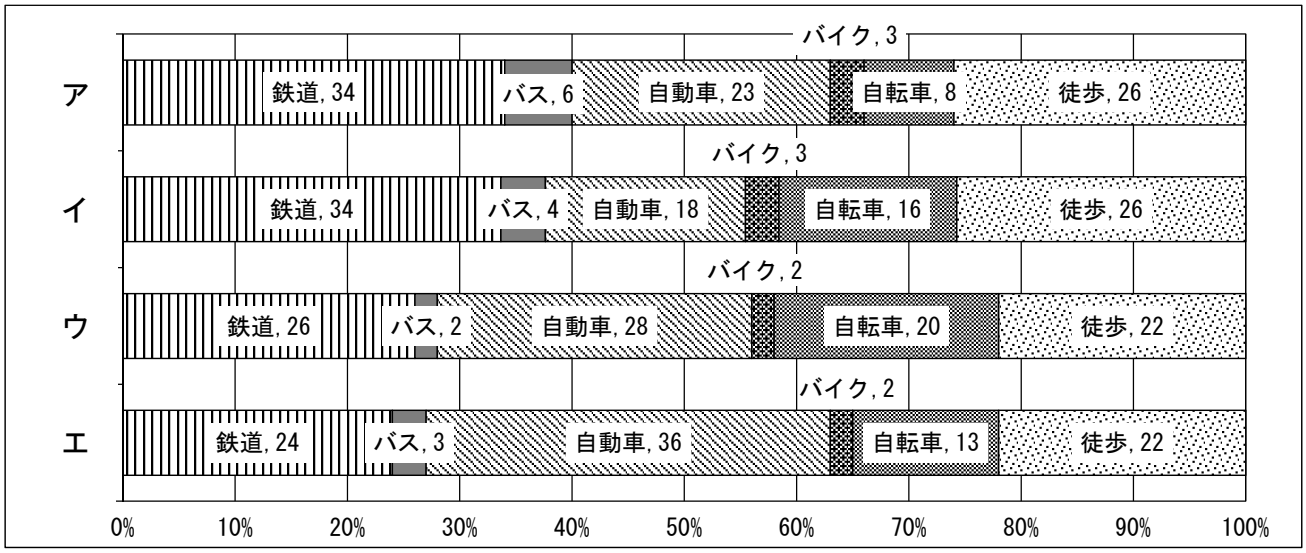
5

花子さんの班では、総合的な学習の時間に、さいたま市の交通について調べることになりました。

花子さんが集めた**資料１**から**資料３**を参考に、次の問１～問３について答えなさい。

問１　花子さんは、さいたま市の交通機関の現状について調べるため、**資料１**を手に入れました。そして、さいたま市と関東地方にある３つの都市を比べ、**【さいたま市について気付いたこと】**を以下のようにまとめました。その内容から、さいたま市のグラフはどれになりますか。**資料１**の中にあるア～エの中から１つ選び、記号で答えなさい。

資料１　さいたま市と関東地方にある３つの都市における交通機関の利用の割合



（平成２０年度東京都市圏（とけん）パーソントリップ調査より作成）

【さいたま市について気付いたこと】

・他市と比べると自動車を利用する人の割合が大きく、２０％以上である。

・鉄道と自動車を利用する人の割合を比べてみると、自動車を利用する人の割合の方が大きい。

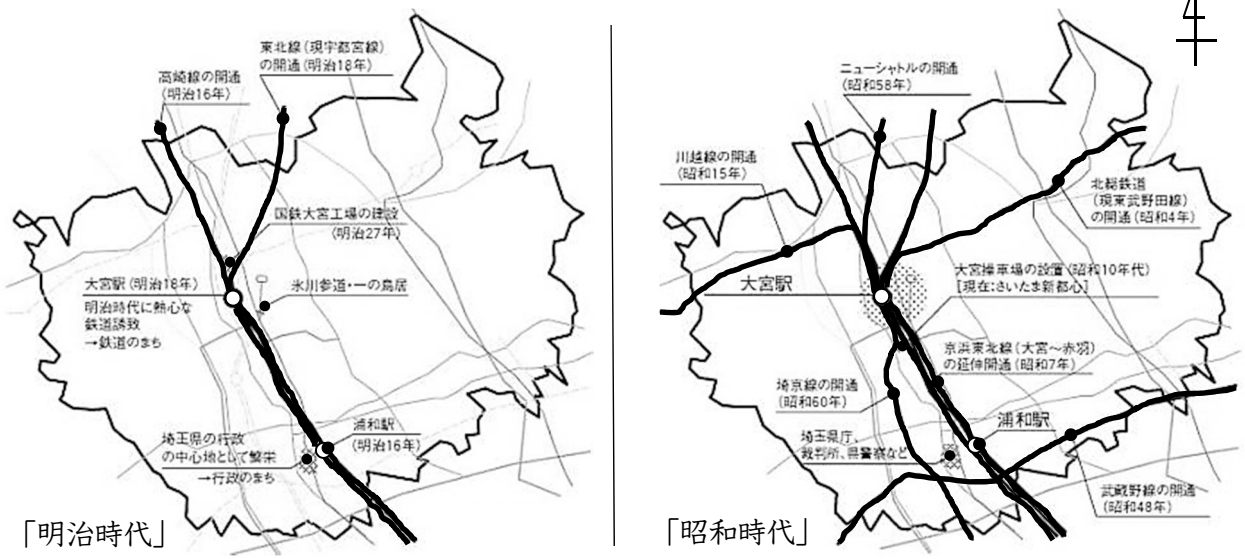
・鉄道やバスを利用する人の割合は低く、あわせても３０％以下であり、特にバスを利用する人の割合が小さい。

・自転車を利用する人の割合が大きく、その割合は１５％を超える。

花子さんは、交通機関の中で鉄道について興味を持ち、さいたま市の鉄道について調べました。

問２　花子さんは、**資料２**を使ってさいたま市の鉄道の整備について次のようにまとめました。
空らん [A] [B] にあてはまる適切な言葉を書きなさい。

資料２　さいたま市の鉄道の整備について



「さいたま市都市局都市計画部都市総務課編集備忘録 vol.5　鉄道のまち、大宮」より

【花子さんがまとめた内容】

明治時代に、現在の高崎線と宇都宮線（東北線）が、今のさいたま市を [A] に通るように整備されました。昭和時代になると、市内北側の地域に東武野田線（東武アーバンパークライン）と川越線が、市内南側の地域に武蔵野線が、[B] に通るように整備され、明治時代に比べ、移動が便利になりました。

問３　花子さんは、太郎くんと新たに手に入れた**資料３**を見ながら、さいたま市の交通について話をしています。下の**【花子さんと太郎くんの会話】**の流れにあうように、空らん［ C ］にあてはまる内容を「鉄道」という言葉を使って１０字以上３０字以内で書きなさい。

資料３　さいたま市の鉄道とバスの運行路線図

「さいたま市都市交通戦略」より作成

【花子さんと太郎くんの会話】

太郎くん：さいたま市の鉄道は、明治から現在にかけて発達してきたんだね。

花子さん：ところで、**資料３**を見て。

太郎くん：さいたま市の鉄道とバスの運行路線図が載（の）っているね。さいたま市のバスは市内を網目（あみめ）のように走っているね。

花子さん：そうね。だからさいたま市のバスには、［ C ］という役割があると考えられるね。

これで、問題は終わりです。